

第456（臨時）回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 令和4年9月26日（月） 10:00～10:35 オンライン（zoom）開催

出席者 <委員長>坂井修一 <副委員長>荻部直
<委員>松下淳一、康永秀生、太田順、肥爪周二、小澤岳昌、（代）青木直大、石原俊時、
石原あえか、中村高康、大和田智彦、高木俊輔、高木健、今井浩、平賀岳彦、森本一夫、
中林真幸、（代）佐藤文俊、尾上陽介、田越秀行、佐藤克文、牧原出
<オブザーバー>石田淳、大島義人、佐川英治、田浦健次朗、木下聡
稲見昌彦、春山富義、蓑輪顕量

欠席者 石崎雅人、柴田龍弘、新蔵礼子、長谷川幸雄、大向一輝

<配付資料>

1. 教員兼務依頼（ヒューマニティーズセンター・助教）
2. 本学におけるオープンアクセスおよびジャーナル問題への対応の方向性について（まとめ）
3. 全学共通経費（第4期）における Scopus の扱いについて
4. 令和4年度図書行政商議会開催日程

<別添>

1. 本学におけるオープンアクセスおよびジャーナル問題への対応の方向性について（まとめ）
説明資料
2. 本学におけるオープンアクセスおよびジャーナル問題への対応の方向性について（まとめ）
参考資料
3. 附属図書館特別展示会「テエベス百門の断面図——歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展」
(10/13～)

<開 会>

- ・坂井委員長の主宰のもとに開会した。

<議 事>

1. 協議事項

(1) 附属図書館教員の連携研究機構兼務について

久保田総務課長から、資料1に基づき、附属図書館アジア研究図書館研究開発部門・助教 河野正のヒューマニティーズセンター・助教兼務（任期：R4.10.1～R5.3.31）について説明があり、承認された。

2. 報告事項

(1) 本学におけるオープンアクセスおよびジャーナル問題への対応の方向性について（まとめ） （オープンアクセスおよびジャーナル問題検討ワーキンググループ）

坂井委員長（オープンアクセスおよびジャーナル問題検討ワーキンググループ（以下「WG」という。）主査）から、WGの審議経過の概要について報告があった。

続いて、金藤情報管理課長から、資料2、別添1、2に基づき、WGが取りまとめた「本学におけるオープンアクセスおよびジャーナル問題への対応の方向性について（まとめ）」の説明があり、図書行政商議会においてもまとめの内容が了承された。

併せて、坂井委員長より本部学術推進支援室の下に設けられた「研究データの管理・利活用に関する検討ワーキンググループ」において、本学の「研究データ管理・利活用ポリシー」と並行して「オープンアクセスポリシー」策定の作業が進められている旨、報告があった。

(2) 全学共通経費（第4期）におけるScopusの扱いについて

金藤情報管理課長から、資料3に基づき、今後のScopusのあり方について説明があり、併せて8月に理事（研究担当）と坂井委員長が懇談した旨、報告があった。

3. その他

(1) 附属図書館特別展示会「テエベス百門の断面図―歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展」について 斎藤情報サービス課長より、別添3に基づき、附属図書館特別展示会「テエベス百門の断面図―歿後100年記念 森鷗外旧蔵書展」について案内があった。

(2) 令和4年度図書行政商議会開催日程について

坂井委員長から、資料4に基づき、臨時回の開催を反映した令和4年度図書行政商議会の開催日程について報告があった。

(3) その他

坂井委員長より、学術ジャーナルの転換契約について、附属図書館が窓口となり、総長および理事を始め本部等関係各所と協議を進めており、確定した後に改めて図書行政商議会で報告する旨、説明があった。

<閉 会>

以 上